

医療事故情報収集等事業 第16回報告書のご案内

1. 報告の現況

(1) 医療事故情報収集・分析・提供事業（対象：平成20年10月～12月に報告された事例）

表1 報告件数及び報告医療機関数

		平成20年			合計
		10月	11月	12月	
報告義務 対象医療 機関	報告件数	166	108	131	405
	報告医療 機関数	148			
参加登録 申請医療 機関	報告件数	11	14	12	37
	報告医療 機関数	26			
報告義務対象医 療機関数		273	273	272	－
参加登録申請医 療機関数		283	283	283	－

第16回報告書15～18頁参照

表2 事故の概要

事故の概要	平成20年10月～12月	
	件数	%
指示出し	6	1.5
薬剤	18	4.4
輸血	4	1.0
治療処置	91	22.5
医療用具等	38	9.4
医療機器	11	2.7
ドレーン・チューブ類	27	6.7
歯科医療用具（機器）等	0	0.0
検査	15	3.7
療養上の世話	181	44.7
その他	52	12.8
合計	405	100.0

第16回報告書25頁参照

(2) ヒヤリ・ハット事例収集・分析・提供事業（対象：平成20年7月～9月に発生した事例）

1) 参加登録医療機関：定点医療機関数 236 施設， 定点外医療機関 902 施設

2) 報告件数（第16回報告書49頁参照）

①総報告件数：59,773件（報告医療機関数 315 施設）

②分析対象：全般コード化情報 58,239件， 記述情報 1,873件

2. 医療事故情報等分析作業の現況

報告された事例については、個別のテーマを設け医療事故情報とヒヤリ・ハット事例を併せて分析を行っています。今回の個別のテーマの検討状況は下記の通りです。

- (1) 薬剤に関連した医療事故 (第16回報告書 67～94頁参照)
- (2) 医療機器の使用に関連した医療事故 (第16回報告書 95～101頁参照)
- (3) 輸血療法に関連した医療事故 (第16回報告書 102～112頁参照)
- (4) ベッドなど病室の設備に関連した医療事故 (第16回報告書 113～121頁参照)

3. 共有すべき医療事故情報（第16回報告書133～135頁参照）

報告された事例の中から、専門分析班等の検討により広く共有すべきであると考えられる事例をとりまとめています。今回の「共有すべき医療事故情報」は下記の通りです。

事例内容	報告件数
併用禁忌の薬剤に関連した事例	1件
注射器に準備された薬剤の取り違えの事例	1件
希釈して使用する薬剤の量を間違えた事例	3件
鼻腔に留置した軟膏付コメガーゼの残存に関連した事例	2件
放射線療法の左右間違いの事例	1件
電気メスと引火性の薬剤を併用した事例	2件
セントラルモニターの受信設定忘れの事例	1件

〔*詳細につきましては、第16回報告書及び当機構のホームページ（<http://www.jcqh.or.jp/html/accident.htm#med-safe>）をご覧ください〕